

## S S H 愛知高原森林野外調査

日時：令和2年9月19日（土）

場所：北設楽郡豊根村 茶白山高原

講師：愛知教育大学教授 渡邊 幹男 先生

希望参加生徒：本校1年生6名，2年生3名



エンシュウツリフネソウ

愛知教育大学の渡邊教授の指導の下、愛知高原茶白山山麓に生育する希少植物であるエンシュウツリフネソウの状況調査と除草作業を行いました。



エンシュウツリフネソウは鹿の食害により絶滅の危機に瀕しており、ネットで囲まれた保護区内のみに生育しています。本校では毎年、保護区内のエンシュウツリフネソウの個体数の調査と、アカソなど他の植物の除去作業を行っています。



(上) 鴨ヶ谷湿地に生育するツリフネソウ

作業後は、鴨ヶ谷湿地に生育するツリフネソウの観察を行いました。渡邊教授は「現在のツリフネソウは、他の花と同様に葉の上に花がある。しかし、エンシュウツリフネソウは葉の下に花があり、これは古代のツリフネソウの形をそのまま残している貴重な例である。」とおっしゃっていました。



今回参加した生徒は、「古代の姿を現代に残しているエンシュウツリフネソウは、とても貴重な植物だとわかりました。これからも保護活動を続けていきたい。」と感想を述べていました。また、参加した1年生の生徒は「この希少な植物であるエンシュウツリフネソウの保全活動に興味が出た。来年も必ず参加したい。」と話していました。